

会議名	第46期 一八会 第10回 役員会 議事録			2026年 1月 19日	
				書記	岡本
議 題	新年例会振り返り、2月・3月例会打ち合わせ				
日 時	2026年 1月 19日(月) 18:30～23:30		場 所	菅原乳業(株) 会議室	
参加者	役 職.	氏 名		役 職	氏 名
参 加 者	会長	菅原 州平		幹事	中村 和丸
	副会長	北浦 宏祐		幹事	岡本 康寛
	会計	堀 良介		幹事	清水 風馬
				幹事	表 宏明
				幹事	

No	表 題	内 容
1	開会挨拶	<b>菅原会長</b> 残すところあと2例会＋分科会ということで 2月例会について詰めていけたらと思う。
2	1月新年例会・ 懇親会の 感想と反省	・講師の体調不良もあり、話が聞き取りづらい箇所があった。マイクに近づいてもらうよう促すなどがあってもよかったかもしれない。 ・一方的な講演形式よりも座談会形式で質問を投げかける方が裏話などを引き出せたかもしれない。 ・話があちこちに飛び、期待していた核心部分になかなか到達せずに終わった。 ・「任せてください」は信用しない方がよいかもしれない。打ち合わせが必要。
3	2月例会 について	・最初に自社紹介をして、その後失敗ストーリーを話し、SECI モデルの説明の後グループワークという流れ  ・今回の課題は単なる「マニュアル作り」ではなく、「職人の暗黙知をどう組織の資産に変えるか」ということ  ・清水さん自身のストーリーが必要という指摘があったように、自身の「困りごと」や「危機感」を素直に伝えることが参加者の共感につながるのではないか？  ・SECI モデルの理論を完璧に解説しようとするのではなく「なぜこのモデルが自社の課題解決に必要なと思ったのか」という清水さん自身の熱量をのせる？  ・SECI モデルはそもそも難しいという前提に立って話す  ・アイスブレイクにて「もし自社からあの人がいなくなったら？」と考えてもらうことで暗黙知を形式知化する必要性を自分事として捉えてもらう。  ・大がかりなことを一度にするのではなく、短いサイクルで SECI モデルを回す体験をしてもらうといいのでは？ルールや縛りを設けて複数回回すことで内容がブラッシュアップされる過程を体感してもらうのはどうか？

No	表 題	内 容
		<p>・「パチパチ・ジリジリ」の音の例は非常にわかりやすいので、「共同化から表出化、連結化」へつなげる具体例として入れた方がいいのではないかな？</p> <p>・「教える」ではなく。「一緒にコツをつかむ」姿勢が大事 →経営者自身が分かっている側だからこそ教えるのが面倒となりがちだが、「みんなで回していこうぜ」という雰囲気作りが重要。</p> <p>・ベテランが当たり前だと思っている用語が、新人には全く通じないという「気づき」をワークの中で促すのはどうか？</p> <p><b>【発表の落としどころ】</b>  ①ガチ勢ルート  SECI モデルを徹底的に学び、自社の職人技術を紐解く決意を語る。  ②学び・気づき共有ルート  モデルを学んだ過程での気づきを発表し、みんなで考えるきっかけを作る。  ③ワーク重視ルート  面白系の体感ゲームを通じて組織全体の「伝えようとする文化」を醸成する。</p> <p><b>【ワークショップの方向性の検討】</b>  (案①)体感型ゲーム レゴ・パスタ等  ・言葉を使わずに伝える難しさ(共同化)や言葉にして伝えるプロセス(表出化)をゲーム感覚で体感する。  →楽しみながら「伝わらないもどかしさ」を理解できる。</p> <p>(案②)実務ベースの判断カード作成  ・明日あの人がいなくなったら困る業務や説明しにくい直感(採用面接の違和感、クレームの予兆など)を一つ選ぶ。グループインタビュー形式で「なぜそう思ったのか?」「その時どこを見ていたのか?」を深掘りし、「新人へのアドバイス」として 1 枚のカードに言語化する。  →完璧な解決ではなく、「判断の軸」を一つ決め、SECI モデルの最初のサイクルを回す体験を持ち帰ってもらう。</p>
4	3月例会について	<p><b>【スケジュール案】</b>  前半: 広報と広告の違い、中小企業が広報をやるべき理由について解説  後半: 自社の当たり前の中にあるニュース探し。30 秒で会社を語る練習。  最後: 明日からできる小さなアクション(SNS のテーマ決めなど)を宣言する。</p> <p><b>【要点】</b>  ・社員が誇りをもって語る会社には良い人材が集まる。  ・メディア掲載や一貫した発信がこの会社は安心だという信用につながる。  ・広告費を注ぎ込むのではなく、自分たちの物語を届けることで周りが自然に広めてくれる状態を目指したい。</p> <p><b>【改善点】</b>  ・経営者にとって「広報」はまだピンとこない言葉なので、冒頭でその定義について悉皆と伝える必要がある。</p> <p>・お金で枠を買う「広告」と第三者が認めてくれる「広報」との違いについて具体例を出して説明する。</p>

No	表 題	内 容
		<p>・実際に広報に力を入れたことで「採用がうまくいった」「売り上げにつながった」という具体的な数字や事例を盛り込み、経営者が「やりたい！」と思える工夫が必要。</p> <p>・一方的に「こうしなさい！」と教えるのではなく、経営者が自分たちの会社の魅力を再発見できるようなワークを中心にする。</p>
5	その他	<p>分科会: 役員の集合時間は 17:45</p> <p>46 期打ち上げ旅行: 釜山 5/15(金)～5/17(日)</p>
6	次回役員会日程	<p>第11回役員会 2月24日(火) 18:30～</p> <p>場所: 菅原乳業(株) 会議室</p> <p>議事録予定者: 本田会員</p>